技とテクノの融合展

子長）

と違い、群馬県・新潟県・秋田県から、また自動車・機械（事務機）・重電

サンホース会 全国大会ひらく

新取扱商品3点を紹介

岡総 「働き方改革」の実践で講演も

全国大会の模様

筒井会長

岡総㈱（大阪市中央区、尾崎正洋社長）は、代理店で組織するサンホース会（筒井三男会長）の平成30年度全国大会を10月5日、淡路島の〝ヴェスティンホテル淡路〟で開催。当日は新規取扱商品の紹介や議事、働き方改革に関する講演会も行われた。

大会には58社の会員関係者や同社幹部社員ら計71名が出席、新会長として㈱東京衡機エンジニアリング営業部次長の藤澤康之氏が紹介された後、前回以降2年間の会員物故者に対し黙祷が捧げられた。

最初に筒井会長（横浜鉛蝶㈱）が「現在では数少なくなった代理店会の中で平成最後の本サンホース会は50年近い歴史があり、日頃より岡総様と意思疎通が出来ている賜物だと思う。ただ最近は様々な事件・事故が多発しており、特に集中豪雨や地震、台風といった自然災害で被災された会員の方々には改めてお見舞い申し上げる。政界では安倍総統の3選、組閣があったが、対外的には米中貿易摩擦や米トランプ政権の中間選挙を control んだ保護貿易政策を前に難しい舵取りが迫られている。

「50年の歴史は意思疎通の賜物（筒井会長）」

先に会長が話された通り製品価格の引き上げが相次いでいる。特にスーパーハイテン系を含む高力ボルト分野は、材料供給が基本的に実績ベースだけに急激な生産増といった対応が取り難い側面がある。大手商社・ハウスメーカーなどからの仮需には高炉メーカーも動かないと思うが、秋口から徐々に需要は増加してくる事が見込まれる。

問題は実際に鉄骨を加工する地方のファブリケーターと思われる。高力ボルトメーカー関係者による現状の供給不足は早くて来年3月、遅くとも6月には解消に向かう見通しで、ことオリンピック関連の建築需要などが控えており、やはり〝細く長く〟仕事はあると思う。

講師の蒲田氏

〝細く長く〟仕事はある

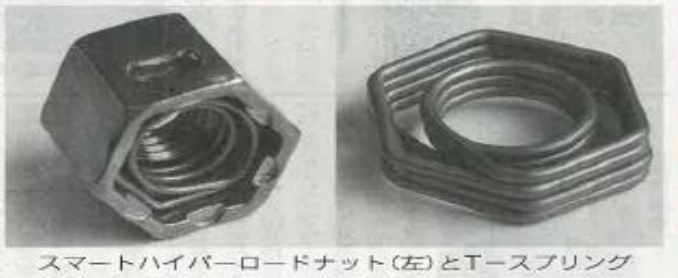
尾崎社長挨拶 **材料高も需要堅調推移**

尾崎社長

尾崎社長は挨拶で、設計を始め加工技術者など現場の深刻な人手不足により加工能力そのものが減退している事だ。このため需給キャップこそみられるが、逆に言えば〝細く長く〟仕事はある」と話した。

㈱中村鋲会は「緩み止め・脱落防止」をテーマに、中小企業に的を絞りポイント解説。働き方改革が真に求めるのは企業そのものの仕組み・システム改革で、そのキーワードである「人」や「時間」に対する従来の概念を変えていく必要があるとした。その上で業態を問わず、全社的な生産性向上を経営課題と位置付け、現状比3割の〝改革〟（ライン設計の変更やAI等の導入、ビジネスモデル・業務プロセスの見直しなど）、3%の〝改善〟（作業手順の見直し、調達先の変更など）に着手しなければ、真の働き方改革は実現できないと力説した。

講演後は、中野忠彦常務からポイント制による恒例のサンホース会特別企画セールについて説明があり、筒井会長による閉会の辞で終了。ただ、翌日に予定されていた島内観光は折からの台風25号の影響を考慮し中止となった。



スマートハイパーロードナット（左）とTースプリング

説明商品

スマートハイパーロードナット＝ナットとスプリングを一体化した〝ハイパーロードナット〟を元に、スプリング部をナット内に格納し施工性を改善した緩み止めナット。市販の電動工具、ラチェットレンチ、スパナ等で締め付け作業が行えるなどファスニングコストを重視。NAS3350規格準拠の衝撃型振動試験機における3万サイクル試験で緩み無し。溶融亜鉛めっき付きSS400相当材M8～M24、SUS304M6～M24。

T－スプリング＝市販のソケットレンチで装着できるボルト・ナットの緩み、脱落防止スプリング。▽既設・新設を問わず使うことができ繰り返し使用も可能、▽NAS3350規格に準拠した振動試験で3万回をクリア、▽中間部での固定が可能（ボルト余長3山分以上）、▽繰り返し使用によるめっき層の剥離や変形の影響がなく、勘合部の締結生も遅い―などの特徴を持つ。サイズは呼び径M4～M48。材質はSUS304―WPB。

AAP膨張アンカー＝孔の状態に追従し膨張するので孔壁に均等に密着、高い保持力・耐力を発揮すると施工アンカー。▽専用工具が不要、▽短時間施工、▽1サイズで様々な穿孔深さに対応―などの特徴を持つ。NETIS登録製品、JCAA工法・製品認証、日本建築センター評定品。W3/8～M20、亜鉛ダイカスト（ZAS）またはステンレス（SUS304）。

AAP膨張アンカー

Bi-MIRTH
ヨーロッパで実績多数！
ドリルねじ・タッピンねじ専門メーカー
木造建築用ビス及び木ねじ製造・販売

生産サイズ	φ4mm～φ12mm L25mm～1500mm （※OEM・カスタマイズ対応可能）

Bi-Mirth Corp. 対応言語：日本語 英語 中国語（電話・メール）
台湾高雄市岡山区永楽街2巷41號
TEL +886-7-6219106 FAX +886-7-6211874
E-mail sales@bimirth.com.tw URL www.bi-mirth.com

14日にNKBK会と懇親会

昌栄青和会 12月は修善寺へ研修旅行

平渡会長

昌栄青和会（平渡芳嗣会長＝㈱平渡商店）は10月12日、ホテルラングウッド（東京都荒川区東日暮里）で10月定例会を開催。11月14日にNKBK会との懇親会、12月15・16日に修善寺（静岡県伊豆市）への研修旅行等を決定した。

定例会開催に際し平渡会長は「今年は台風・地震と災害の多い年だったが、残り3か月は平穏無事であってほしい。関連して本日は寄付先について検討もしたい」と話した。

主な議案は次の通り。

1号議案・家族会収支報告＝8月25日にパルパッコア・クラシコ（千代田区丸の内）で開催の家族納涼会について。

2号議案・NKBK会との懇親会について＝4月に開催の「OS会創立記念式典」において、NKBK会会員と意見が挙がったのがきっかけで、11月14日に開催し会場は新橋を予定。今までNOST（NKBK会・OS会・昌栄青和会・泰紙会）交流会での会合はあったが、両会としての懇親会は今回が初となる。

3号議案・研修旅行について＝12月15日昼に東京駅に集合・出発して修善寺へ参拝。翌日はいちご狩り（訪問先の農家ではシーズン初日）の後、伊豆長岡駅から東京駅への帰途に就く予定となる。

※幹事は山田恭司氏（㈱山甚紙蝶製作所）。

4号議案・寄付金の選定について＝同会予算として、また定例会開催毎に会員有志による募金等で集まった寄付金は、例年は国内の災害発生地域や（公社）被害者支援都民センター等に寄付しているが、今年度は広島県・北海道・大阪府等、また同センターが候補として挙げられ、詳細は来月の定例会で決定する。